

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年6月15日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年6月15日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【水処理建屋電気品室空調機(A)室外機の電動機不具合について】 水処理建屋電気品室空調機(A)室外機の電動機に不具合が発生し、運転を停止。 当該空調機は2系統で構成され残りの(B)系統が運転しており、温度制御は運転範囲内であり問題はない。 なお、不具合の発生した電動機は点検交換予定。	GⅢ
2	【6号機原子炉補機冷却系熱交換器(B)海水側水室ブロー弁(北側)2次側詰まりについて】 原子炉補機冷却系熱交換器(B)水抜き時、海水側水室ブロー弁(北側)の2次側弁に詰まりを確認。 なお、熱交換器の水抜きは他のブローライン(南側)により完了。 当該弁及び配管を点検清掃予定。	GⅢ
3	【6号機建屋排気放射線モニタ排気サンプルポンプB2停止について】 警報「流量高/低」が発生し、サンプルポンプB2の停止を確認。現場調査の結果、当該ポンプ不具合と判断。 なお、当該ポンプは、長期保管設備と見直したことから、停止しても問題なし。	GⅢ
4	【雑固体廃棄物焼却設備二次燃焼器バーナの軽油ポンプユニット(B)ストレーナ油にじみについて】 雑固体廃棄物焼却設備二次燃焼器バーナの軽油ポンプユニット(B)にあるストレーナの入口側接続部(ねじ込み)から油が滲んでいることを発見。 なお、当該部の下部には受けが設置されているため、滴下した場合でも漏えいが拡大することなし。	GⅢ